

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 森脇 康仁 (木戸 徹)	内線	4459 (4465)
------	-----	---------------------	------------------------	----	----------------

事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	2.1 億円
		通常砂防事業 こうしん 庚申川		内用地補償費	0.19 億円
所在地				事業採択 予定年度	着工予定 年 度
洲本市 中川原町 ^{いちばら} 市原				19年度	19年度
事業目的			事業内容		
土石流災害対策 ・土石流危険渓流に該当し、溪岸の浸食が進んでおり土砂災害の危険性が高まっているため、えん堤工を設置して地域住民の人命、財産、緊急輸送道路である(主)洲本五色線、市道及び市原公会堂を保全する。			・砂防えん堤工 1基 (H = 11.0m , L = 65.0m) [負担割合 国:1 / 2、県:1 / 2]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 安全、安心	・庚申川は土石流危険渓流である。 ・平成16年10月台風23号により、溪岸の浸食が進むなど流域内も広範囲に荒廃している。土石流対策としては、既設えん堤があるが、満砂しており、整備率は低い水準にある。 ・保全対象:人家 = 24戸、公共施設 = (主)洲本五色線、市道、市原公会堂、寺院、神社 田畑 = 1.87ha				
地域の活性化	・砂防えん堤工事により土砂災害の危険性が軽減され、第2次緊急輸送道路である(主)洲本五色線を保全することにより、地域間の交流に一層寄与する。				
快適性・ゆとり	・えん堤設置により土石流を止め、下流域への土砂氾濫を防止することにより、安全で快適な生活空間を提供する。				
その他	・地元の土砂災害に対する認識度も高く、事業化への要望が強い。 ・災害復旧のため池改修事業との連携をはかる。				
(2)有効性・効率性 有効性	・人命・財産(人家24戸)、第2次緊急輸送道路である(主)洲本五色線、市道及び地域住民の交流の場である市原公会堂が保全されるので、事業実施による投資効果は大きい。				
効率性	・地元からの要望が強く、市等の協力体制が整っており、円滑な事業執行が可能である。				
(3)環境適合性	・県道等からの視認性を考慮し、化粧型枠等により周辺景観に配慮する。また、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。				
(4)優先性	・土石流の想定被害区域には人家24戸のほか、第2次緊急輸送道路である(主)洲本五色線、市道及び避難所である市原公会堂がある。 ・平成16年10月台風23号により流域の荒廃が激しく進み、土砂流出の危険性が高く、市原地区の人命・財産等を保全するため早急な対策が必要である。				